



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊 ニュース

2010年9月26日 No.722

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



認可保育園 南品川 中延 開設きまる

父母らの運動を共産党が応援し実現



品川区が長期計画(2009年～2018年)で掲げている保育受け入れワクの拡大策は幼保一体施設の整備と認証保育所の活用だけ。認可保育園増設の方針はありません。

品川区は今年9月9日、来年4月に私立の認可保育園2園の開設を発表。認可保育園に申し込みながら入れない子どもが毎年増え続けるなか、増設を求める運動の広がりやと議会で共産党が増設を求めて実現しました。共産党は引き続き増設へ頑張ります。

来年4月開設するのは、南品川1丁目の(仮称)とうかいどう保育園・定員99名と、東急荏原町駅前の(仮称)グローバルキッズ荏原町保育園・定員90名の2園。計189名分の定員が増えます。とうかいどう保育園は認証保育所から認可園への切り替えでの定数増です。

認可保育園に入れない子どもは毎年増え続けています。昨年は488人入れなかつたため、品川区は今年認可園の受け入れワクを390人分増やしましたが、結局494人が入れず昨年より増えてしまいました。認可園はまだまだ足りません。引き続き増設が求められています。

〈お知らせ〉 当ニュースは選挙のため次週の発行を休みます。

認可園設 後ろ向きの区長と 共産党が論戦!

区長は「長期的視点で見ると認可保育園の増設は財政上の困難を抱える」と認可園増設に後ろ向き。区長の与党も認可園増設に反対し、6月28日の文教委員会では新日本婦人の会品川支部提出の「認可保育園増設を求める請願」を反対多数で否決しました。そうしたなかでの認可園2園の増設は画期的です。以下、請願を審査した際の区担当課長と各議員の意見(要旨)を紹介します。

認可保育園増設に消極的・反対の意見

■待機児童対策担当課長

今後の待機児童解消対策としては、幼保一体施設の整備計画による認可保育園の開設や認証保育所の誘致、短時間就労対応型保育室など多様な形を講じて受け入れ枠の拡大を図ってまいりますので、認可保育園の大幅な増設で保育事業を満たしていくことは考えておりません。

■井桁敦子議員(自民党区議団)

品川区は、いろいろ待機児童を解消するために頑張られている。認可保育園増設ありきの待機児童対策は今後10年、20年を考えたとき、本当にいいのかなと常々思っておりますので、そのところも見きわめて品川区はやっていたらいい。請願は不

採択。

■金野孝子議員(区議会公明党)

公明党は(請願は)不採択です。

■本間隆議員(民主品川)

全体を通して結論をいいますと不採択です。

■西本貴子議員(無所属の会)

認可保育園の増設に賛成の意見

◎飯沼雅子議員(共産党区議団)

現状の対策では親御さんの不安は解消しません。女性が働くのが当たり前時代に、保育園が足りなくて働けないという事態は一刻も早く改善を求められています。

保育園不足は、国と品川区が認可保育園を必要な数つくってこなかった点にあるので、財政面でも国に求めるところは求めていただいで、「保育に欠ける」状態のあるお子さんには保育園

100%希望どおりというのはなかなか難しい状況もあります。請願は不採択。新しく認可保育園をつくるのはそれなりのお金がかかってきます、税金で賄っていかねければならないことを考えると、区民全体の理解も得らなければなりません。

を活用していただきたい。詰め込みではなくて、認可保育園の増設計画を立ててやっていただきたい。請願に賛成します。

○井上八重子議員(生活者ネット)

大変な状況になっているという思いは深刻に受けとめていきます。請願は趣旨採択。

無料
弁護士
が対応

法律相談

は

10月15日(金) Pm 6:30

みやざき克俊事務所

生活相談は随時受付

